## 脱着式簡易アルミ防水板



# 関サロフガンガード

# 取扱説明書



●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。 また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

三和シヤッター工業株式会社

#### 

このたびは、三和シヤッター工業㈱の商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、脱着式簡易アルミ防水板「ミリオンガード」を安全に正しくご使用いただくためのガイドブックです。当商品をご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解されたうえでご使用ください。

また「ご使用上の注意」に記載されている事項は守らないと重大な人身事故につながる恐れもありますのでよくお読みになり、正しくご使用ください。

この取扱説明書をお読みになった後は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

## 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様に特に注意していただきたい事項には、下記のようなマークと見出し をつけています。この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をよ くお読みいただき、十分ご理解のうえ注意してご使用ください。



│ 取扱いを誤った場合に、 | 死亡または重傷を負う可能性の | あることを示しています。

## ▲ 注意

取扱いを誤った場合に、 軽傷を負うか、または物的損害の 可能性のあることを示しています。

## 目 次

安全	とにお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
ご使	5用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
1.	各部の名称・・・・・・・・・・3,4
2.	お手元に届いたら【W調整金具・ベルトの調整方法】 $\cdots \cdot $
3.	ご使用時の設置方法・・・・・・・・8,9,10
4.	保管11
5.	日常点検・・・・・・11
6.	メンテナンスのお願い・・・・・・・11
7.	異常時の処置・・・・・・・12
8.	お手入れ (清掃) 方法・・・・・・・12,13
	保証書・・・・・・14
9.	故障における修理連絡先・・・・・・15

#### で使用上の注意

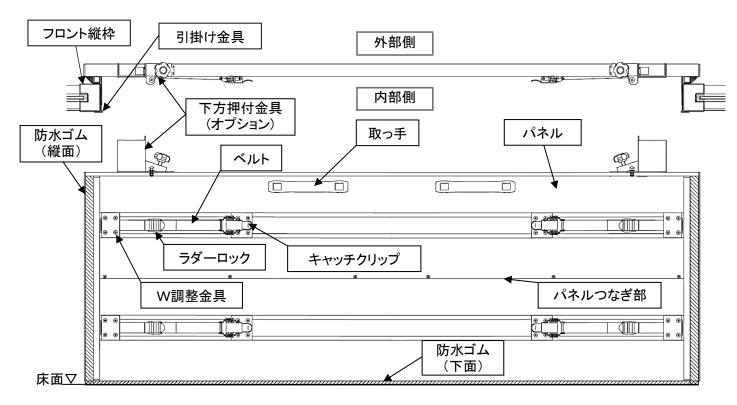
次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

- 必ず自動ドアの電源を落としてから設置作業を開始してください。取外し時も同様に電源を落として ください。
- 運搬時、設置時の取扱いには十分ご注意ください。落下や衝突など怪我をする恐れがあります。

**↑注意** 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

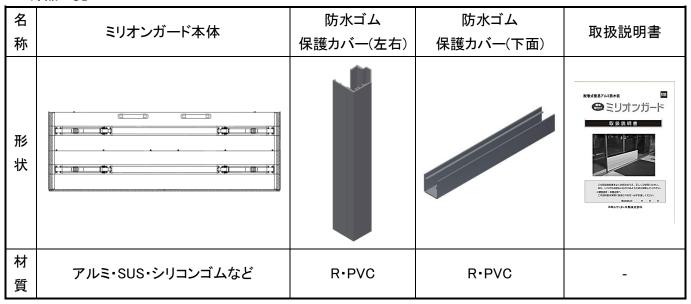
- 1. 「ミリオンガード」は完全防水をお約束する商品ではありません。流入する水により、屋内側に置い てある物品が濡れるおそれがあります。濡れて困る物品は、使用前に移動してください。
- 2. 設置場所の状況により性能が異なる場合があります。
- 3. フロント縦枠に設置する商品ですが、フロント縦枠の水圧強度は保証致しかねます。
- 4. 設置前にフロント縦枠及び床面の清掃をしてください。
- 5. 設置前に防水ゴム保護カバーを必ず取外してください。
- 6. 下方押付金具(オプション設定品)のシリコンシートが汚れている場合、十分な押し付け力を発揮でき ません。設置前には必ずシリコンシート部を清掃してください。
- 7. 誤った設置方法では、十分な防水機能が発揮されず損害が発生する危険性があります。設置にあ たっては、<3.ご使用時の設置方法>をご確認ください。
- 8. ミリオンガードをまたぐ場合、防水板に引っかからないよう注意してください。また、防水板や防水板 の固定金具に不用意に触れないようにしてください。漏水の原因となります。
- 9. 常時設置商品では御座いません。雨水浸入の恐れがなくなりましたら、速やかに取外してください。
- 10. 防水パネルは完全に水が引いてから取外すようにしてください。
- 11. 保管する際には、必ず防水ゴム保護カバーを取付け、防水ゴムが床や壁面などに圧迫されて、つ ぶれないように保管してください。破損、変形の原因となります。
- 12. 保管時にミリオンガードの上にものを載せないでください。
- 13. フック等にパネルを吊り下げる場合は、手、指を挟まないようにしてください。
- 14. 防水ゴムなど製品には、直射日光が当たらないように保管してください。
- 15. 製品を落下させるなど強い衝撃を与えないようにしてください。破損、変形により防水性能の低下の 恐れがあります。
- 16. 運搬時、設置時には、製品を引きずるなど防水ゴムを破損、変形させないでください。破損、変形に より防水性能の低下の恐れがあります。

#### 1.各部の名称



※本図はパネル高さ500タイプの場合です。パネル高さ250タイプはパネルが1段になります。

#### ■部品一覧



#### ■仕様

○使用条件: 周囲温度……10°C~+40°C(ただし、凍結状態を除く)

周囲湿度……RH 85%以下

環境条件……沿岸部、化学工場などの腐食性環境および粉塵環境を除きます。

〇主な材質:アルミ・ステンレス

〇設計浸水高さ:490mm 以下(円 500mm)

240mm 以下 (H) 250mm)

〇防水性:200/(h·m²) 以下

○パネル重量:約 20kg(W) 2000mm × (H) 500mm の場合)

#### ■設計耐用年数

〇当商品の設計耐用年数は10年です。ただし、設計耐用年数は保証値ではありません。保証期間につきましては、14ページ「保証書」を参照してください。「設計耐用年数」はお客様による適切な維持・管理とお手入れを実施した場合の数値です。

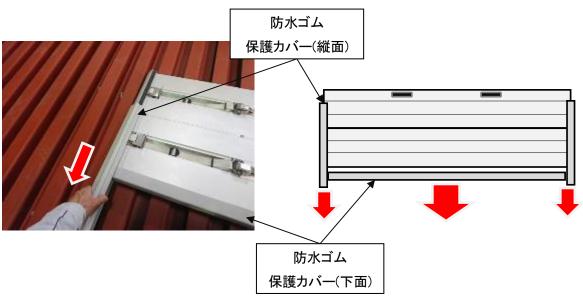
#### 2.お手元に届いたら【W調整金具・ベルトの調整方法】

#### ※本使用の前に必ず確認をお願いします。

- 〇お求め頂いた「ミリオンガード」は、工場にてW調整金具やベルト長さを調整し、出荷しておりますが 正しく設置できるか確認し、微調整が必要な場合は下記手順を参照し調整してください。
- 〇正しく調整されていない場合、本来の防水性能が発揮できないことがあります。

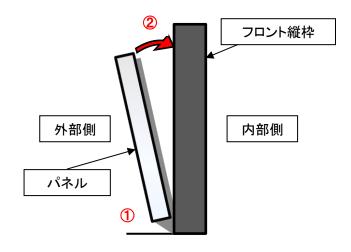
#### 2-1. 防水ゴム保護カバーの取外し

- ①ミリオンガードを立掛けもしくは平置きの状態にしてください。
- ②防水ゴム保護カバーを取外してください。
- ※縦面、下面防水ゴム保護カバーは下方向へ引き抜くことで外すことが出来ます。



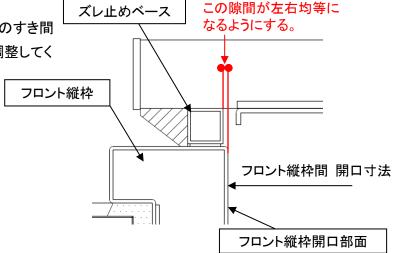
#### 2-2. フロント縦枠への仮設置

- ①ミリオンガードを斜めにし、パネル下側の防水ゴム をフロント縦枠に密着させます。
- ②フロント縦枠に対し、下方からパネルを垂直に起こして防水ゴムをフロント縦枠へ密着させてください。



#### 2-3. パネル左右の位置

①ズレ止めベースとフロント縦枠開口部面とのすき間が左右均等になるよう、パネルの位置を調整してください。



#### 2-4. 引掛け金具の設置

- (1)引掛け金具をフロント縦枠の内部側に掛けます。
- ②引掛け金具が落ちない程度にラダーロックを調整 し、ベルトを引張ってください。
- ※ベルトが少し緩んでいる状態で構いません。
- (引掛け金具及びベルトは、パネル高さ500タイプは4 箇所、パネル高さ250タイプは2箇所有ります)

#### 2-5. キャッチクリップの固定

①キャッチクリップを引き込み仮固定してください。 ※指をはさまないように注意してください。





#### 2-6. W調整金具の確認・調整

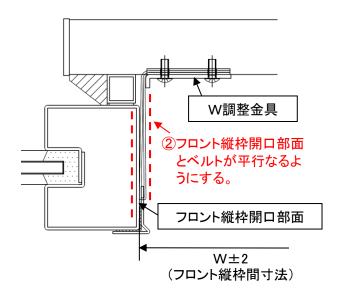
- ①W寸法(フロント縦枠間寸法)が**実測寸法±2mm** となっているか確認をする。
- ②W調整金具の適正な位置は、フロント縦枠開口部 面に対しベルトが平行になる位置です。

(正しい設置状態参照)

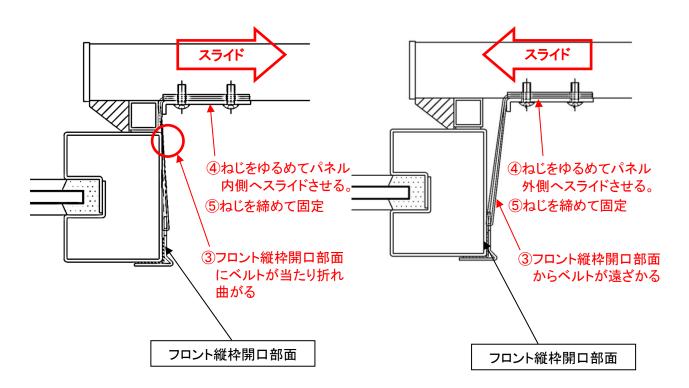
- ③W 調整金具の位置が正しい位置ではなく、ベルトがフロントたて枠に対して、平行になっていない場合は、W調整金具を調整してください。
- ④W調整金具の調整方法は、ねじを緩め、スライド (内側、外側)させて調整してください。
- ⑤フロント縦枠開口部面に対しベルトが平行になる位置が決まったら、W調整金具のねじを締めて位置を固定してください。

※W調整金具の調整時には<u>プラスドライバー</u>が必要になります。

#### <正しい設置状態>

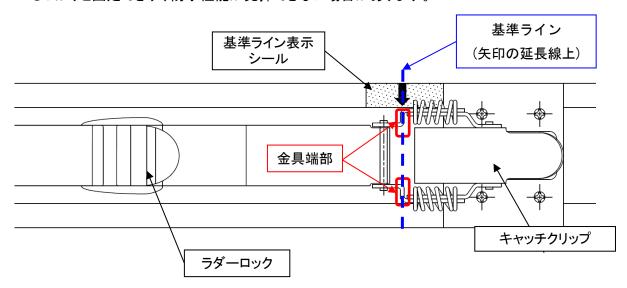


- ●調整金具が縦枠より外側にある場合 <フロント縦枠にベルトが当たり折れ曲がる>
- ●調整金具が縦枠より内側にある場合 <フロント縦枠からベルトが遠ざかる>

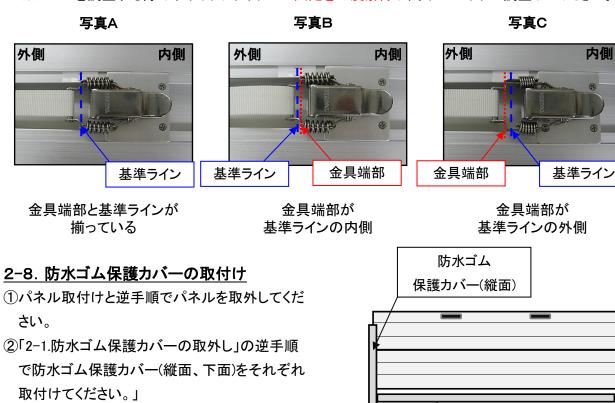


#### 2-7. ベルトの調整

- ①**金具端部と基準ラインの位置**を確認してください。
  - ※「2-6. W調整金具の確認・調整」の後にベルトのテンションの調整を実施しないとパネルが しっかりと固定できず、防水性能が発揮できない場合があります。



- ②写真 A の状態になる様に、全てのベルトを調整してください。
  - 写真 A の状態…適正な状態です。
  - 写真Bの状態…ベルトがゆるい状態です。少しベルトを締めてください。
  - 写真 C の状態…ベルトがきつい状態です。少しベルトを緩めてください。
  - ※ベルトを調整する際は、キャッチクリップの固定を一度解除し、ラダーロックで調整してください。



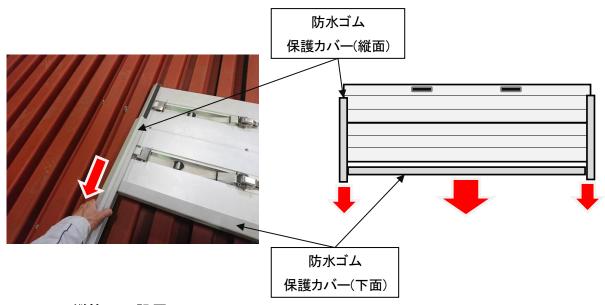
防水ゴム 保護カバー(下面)

#### 3.ご使用時の設置方法

- 〇フロント縦枠と密着する面には指などを挟まないように注意してください。
- 〇引掛け金具をキャッチクリップにて固定する際も指などを挟まないように注意してください。

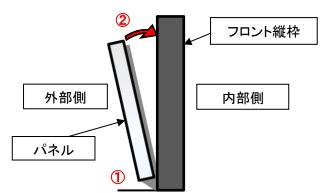
#### 3-1. 防水ゴム保護カバーの取外し

- (1)ミリオンガードを立掛けもしくは平置きの状態にしてください。
- ②防水ゴム保護カバーを取外してください。
- ※縦面、下面防水ゴム保護カバーは下方向へ引き抜くことで外すことが出来ます。



#### 3-2. フロント縦枠への設置

- ①ミリオンガードを斜めにし、パネル下側の防水ゴムをフロント縦枠に密着させます。
- ②フロント縦枠に対し、下方からパネルを垂直に 起こして防水ゴムをフロント縦枠へ密着させてく ださい。



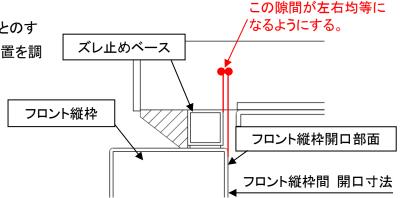
#### 注意!

パネルを起こした際に、<u>下側に隙間</u>が出来ないように注意してください。

| カ部側 | 内部側 | 内部側 | | |

#### 3-3. パネル左右の位置

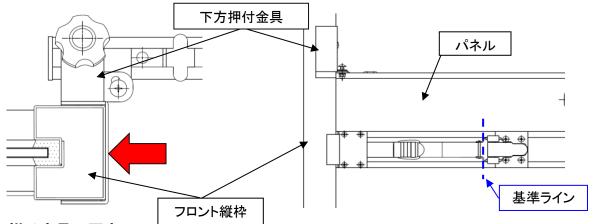
①ズレ止めベースとフロント縦枠開口部面とのす き間が左右均等になるよう、パネルの位置を調 整してください。



#### 3-4. 下方押付金具(オプション)の仮固定

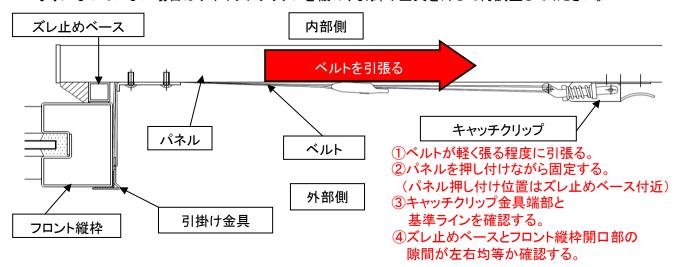
①パネルが倒れないように、左右の下方押付金具をフロント縦枠へはめ込み、仮固定してください。

※下方押付金具が設定されていない場合、この項は飛ばし、3-5の手順へお進みください。



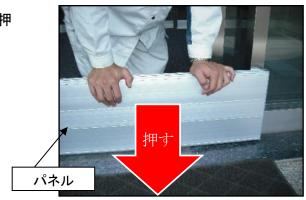
#### 3-5. 引掛け金具の固定

- ①引掛け金具をフロント縦枠へ引掛けた後、キャッチクリップを引張りベルトが軽く張った状態にします。
- ②パネルを上から押し付けながら、キャッチクリップを引き込み、引掛け金具を固定してください。
  - ※指を挟まないように注意してください。
  - (引掛け金具及びベルトは、パネル高さ500タイプは4箇所、パネル高さ250タイプは2箇所有ります)
- ③キャッチクリップ金具端部と基準ラインの位置が正しいか確認してください。
- ④ズレ止めベース(下図参照)とフロント縦枠開口部の隙間が左右均等になっているか確認してください。 均等になっていない場合は、キャッチクリップを緩め、引掛け金具を外して再調整してください。



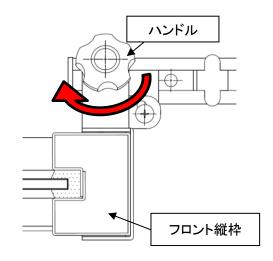
#### 3-6. パネルの押し付け

①パネル全体に、体重をかけながら、上から下へ押 し付けてください。



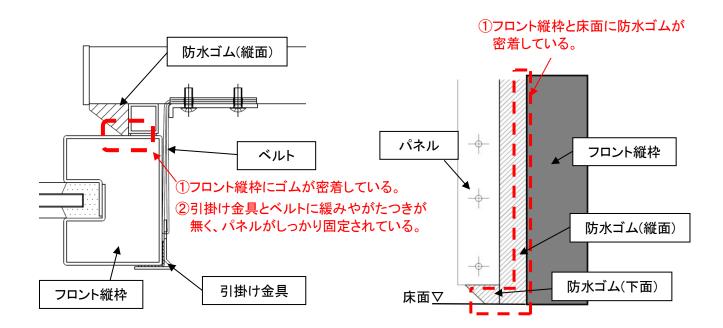
#### 3-7. 下方押付金具(オプション)の押し付け

- ①左右の下方押付金具のハンドルが廻らなくなるまで時計回りに廻し、パネルを下方向へ押し付け、 固定してください。
- ※下方押付金具が設定されていない場合、 この項は飛ばし、3-8 の手順へお進みください。



#### 3-8. 設置確認

- ①縦面と下面の防水ゴムが、フロント縦枠と床面に密着しているか確認してください。
- ②引掛け金具とベルトに緩みやガタつきがなく、パネルがしっかり固定されているか確認してください。



#### 4.保管

- 〇ミリオンガードを保管する際には、必ず付属の防水ゴム保護カバーを取付け、防水ゴムが床や壁面など に圧迫されて、つぶれないように保管してください。平置き、吊り下げ、たて置きが推奨保管方法です。
- 〇保管時にミリオンガードの上にものを載せないでください。
- ○直射日光・高温多湿な環境を避けて保管してください。
- ○フック等にパネルを吊り下げる場合は、手、指を挟まないようにしてください。
- 〇たて置きで保管する場合、パネルが倒れないように転倒防止策を講じてください。

#### 5.日常点検

ミリオンガードは防水性能を維持するために日常点検が必要です。

以下の事項をご確認ください。

- ①パネルや引掛け金具、下方押付金具など製品に破損や劣化、変形がないこと。
- ②パネルに使用されている防水ゴムに亀裂などの破損や剥離がないこと。
- ※当商品を設置した際は、毎回点検を行ってください。

また、未使用の場合であっても年間1回程度、お客様ご自身にて点検を行ってください。

※民法第717 条において、建物の所有者、占有者は建物の維持管理に瑕疵(欠陥)が有ってこれにより他 人に損害を与えると責任を負わなければならないとされています。

点検にて問題を見つけた場合は、ご使用をお控えいただき、最寄りの三和シヤッター工業(株)営業所または FTS(修理連絡先)へご連絡ください。

#### 6.メンテナンスのお願い

ミリオンガードは水害発生時、防水性能を維持するためにメンテナンスが必要です。

当商品には消耗部品として<u>防水ゴム</u>があり、使用状況、経年変化により破損や劣化、変形いたします。 防水ゴムの交換の目安は7年ですが、劣化が散見される場合には交換をお勧めします。

交換については、最寄りの三和シヤッター工業㈱営業所、またはFTS(修理連絡先)までご連絡ください。

#### ■防水ゴム破損や劣化、変形の例



#### 7.異常時の処置

#### ■修理依頼について

不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、必ず建築物を管理される立場の方を経由して、三和シヤッター工業(株)営業所、またはFTS(修理連絡先)までご連絡ください。ご連絡にあたっては、破損箇所や不具合状態をお知らせください。

#### ■建築物を管理される立場の方へ

●建築物を管理される立場の方が入れ替わった場合、新しい建築物を管理される立場の方に本書をお渡 しください。

また本書がお手元に無い場合は、三和シヤッター工業(株)に必要部数をお申し付けください。

●本書の記載内容に基づき、建築物を管理される立場の方が点検及びお手入れをしてください。 また、商品につきまして不具合または取扱説明書の再発行のお申し出があった場合は、早急に三和シャッター工業(株)営業所までご連絡ください。

#### 8.お手入れ(清掃)方法

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

清掃の目安は、少なくとも年に1 ~ 2 回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

また、使用後は必ずお手入れをしてください。

#### ■清掃方法

#### <汚れが軽い場合>

濡れた布などで汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。

#### く汚れがひどい場合>

- (1) まず、水で汚れを洗い落としてください。
- (2) 水洗いで落ちない汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて含ませたスポンジ (メラミンスポンジは除く)または布で拭き取ってください。
  - ※酸性やアルカリ性の洗浄剤は使用しないでください。サビや変色の原因となります。
  - ※金属たわしやワイヤブラシなどは使用しないでください。表面に傷がついてしまいま、。
- (3) 表面に洗剤と汚れが残らないように十分に水洗いしてください。
- (4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 〇パネルの表面に付着した、ほこり・塩分は長時間放置しておきますと、しみや腐食の原因となります。 汚れが軽いうちに清掃してください。
- ○防水ゴムは消耗品です。耐用年数は使用場所、使用環境によっても異なります。 もし、防水ゴムが切れていたり、パネルから剥がれていた場合は防水ゴムの交換をお願いいたします。
- 〇ホース・高圧洗浄機などを使用し、水洗いをした後は、本体の乾燥を待って使用してください。





#### ■清掃回数の目安(1年あたりの回数)

海岸地帯、工業地帯などの環境では比較的早くサビが発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生することがあります。このような場合は、サビが発生する前にこまめにお手入れ(清掃)する必要があります。

材質環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス(素地)	10~20	6 <b>~</b> 10	4~8	2~4
アルミ(クリア塗装)	1~4	1~3	0.5~2	0.5~1

#### 〈ステンレス製品の注意事項〉

ステンレス材はサビにくい材料ですが、サビない材料ではありません。しかも、通常はステンレス材は素地のまま(塗装なし)で使用しますので、清掃が頻繁に必要となります。

なお、初期のサビであれば「清掃方法〈汚れがひどい場合〉」で除去できます。サビがひどい場合は市販のステンレス専用クリーナーを購入してください。 また、市販のステンレス専用クリーナーをご使用の際は、注意書きを読んでからご使用ください。

#### 〈ステンレス製品のサビについて〉

ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されるからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す 性質を持っていますが、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるのでサビが発生することがあります。従って、ステンレスは決して 「サビない」ものではなく、むしろ「サビにくい」金属と言えます。

サビが発生するのは、例えば次のような状態に放置した場合です。

- 塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合。
- 海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着した場合。
- ばい煙、塩酸、排ガス、温泉蒸気、火山の噴煙などが付着した場合。

このほかに、ステンレスにサビが発生する要因として、「もらいサビ」と言われるものがあります。「もらいサビ」とは、例えば鉄くぎのサビがステンレス表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによってサビてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身がサビたように見える現象です。

サビは市販のステンレス専用クリーナーなどでこすり落としてください。この場合は、表面にこすり傷がつくことは避けられません。「もらいサビ」が落ちない場合は、サビが進行してステンレス自身にサビが生じたものと考えられます。

一旦発生したサビは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに日頃から注意してこまめにお手入れをしてください。サビの発生を防ぐことができます。

#### 保証書

#### 1. 保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適切なご使用状態で、 保証期間内に不具合が発生した場合は、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

#### 2. 保証期間

購入日から2年間とさせていただきます。 購入日が特定できる書類などを大切に保管してください。

#### 3. 免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- 1. 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、暴雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、 津波、噴火など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- 2. 自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば結露・凍結、風による振動・共鳴音、直射日光による熱反りなど)。
- 3. 環境が悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合(例えば海岸地帯での塩害による 腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着して おきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)。
- 4. 表示された商品の性能を超えたことに起因する不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)。
- 5. 建築躯体の変形など、商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
- 6. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- 7. 当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの 不備に起因する不具合(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外 のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
- 8. お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取り外しを含む)に起因する不具合。
- 9. 引き渡し後の操作誤り、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- 10. 使用に伴う接触部分の摩耗・傷、塗装の剥離や時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴うさびなどの不具合。
- 11. 実用化されている科学や技術では、予測することや予防することが不可能な現象、またはこれが 原因で生じた不具合。
- 12. 犬、猫、鳥、鼠、昆虫、ゴキブリ、蜘蛛などの小動物の害による不具合。
- 13. 機能上支障のない音、振動など感覚的現象。
- 14. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。
- 15. その他、不具合の原因が第三者にある場合。

#### 4. その他

- 1. 浸水・漏水による家財等の被害は補償いたしかねます。
- 2. 保証期間経過後の修理、交換などは有料となります。
- 3. ゴム部品等の消耗品につきましては、有料となります。

### 9. 故障における修理連絡先

#### 故障やトラブルに、電話一本で対応 FTS(フルタイムサービス)修理受付をご利用ください。

三和シヤッター工業(株)では、商品の故障・トラブルに365日・24時間体制でお応えするFTS(フルタイムサービス)修理受付システムを設けています。 お困りやご心配なことに全国どこからでもお電話一本で対応します。

※ 一部の地域・天候・その他不可避な状況により当日の対応ができない場合があります。

FTS(フルタイムサービス)修理受付

FTS 0120-3030-17

●発売元



三和シヤッター互業株式会社

http://www.sanwa-ss.co.jp/

○**商品**に関するお問い合わせは (土日祝を除く平日9:00~17:00) ※一般電話 公衆電話からは、市内科全で選話可能。

●製造元

Smillion 昭和建産株式会社

●お問い合わせは

印刷/2022年10月 SK・202210